

背景・目的について

1. 背景

(1) 村における交通輸送の現状

- 村営バス →寄居駅・和紙の里間を運行。川博線については平成 24 年度をもって廃線
- 民間バス →イーグルバス（株）にて運行。小川町から白石車庫行など 3 路線を運行
- タクシー →村内に事業所はない。小川町・寄居町の事業所を利用
- 福祉・過疎地有償→NPO 法人「ふれあいやまびこ会」、通院や買物目的のため移送サービスを実施

(2) 課題

- ・バス利用者の減少や補助金の減額等により財政的に厳しい状態
- ・村営バスの統合・再編について
- ・観光地への輸送が確立できていない
- ・バス本数の少なさ

→村では「和紙の里」をハブ施設として整備し、観光・地域公共交通ネットワークの拠点として再構築することを決定

→まずは、交通網の整備から着手していく

2. 目的

東秩父村地域公共交通活性化協議会

○これらの諸問題を解決すべく、本村における地域交通の問題を有機的に協議し、公共交通をまちづくりと一体的に活用していく取組をまとめた「東秩父村地域公共交通網形成計画」を策定・実施するために、当協議会を組織し協議を行っていききたい

○住民・観光客アンケートなどで現状把握をしたい

(補助対象)

○上記調査などを、委託し行う

3. 協議会について

○分科会（少人数において活動・検討を行い、協議会に諮り承認を得る）

○調査を精査し、ニーズ把握などに努めた結果を協議会に諮る